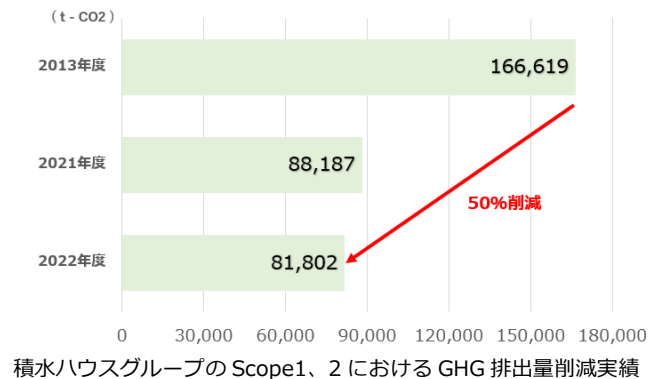


## 事業活動の温室効果ガス排出量を 2013 年度比 50%削減

積水ハウス株式会社は、2022 年度のグループの事業活動における Scope1 および Scope2 の温室効果ガス（GHG）排出量を 2013 年度比で 50%削減しました。これは、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が示す、1.5℃に向けた GHG 排出量の削減目標に整合する水準です。



### 2022 年度の Scope 1、Scope 2 の GHG 排出量は 2013 年度比 50%削減

積水ハウスでは、再生可能エネルギーを用いて発電した環境価値をもつグリーン電力の調達のため、「積水ハウスオーナーでんき」の取り組みを推進しています。「積水ハウスオーナーでんき」の 2022 年度の加入率は 53%であり、当初目標とした 30%を大きく上回り進捗しています。また、2022 年度の「RE100 進捗率<sup>\*</sup>」は 55%となりました。

当社国内工場において使用される電力の 78.7%は再生可能エネルギー由来のグリーン電力に切り替わっており、さらに業務用車両の電動化推進や、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）仕様を満たす社屋への入居など、事業活動の脱炭素化を進めた結果、積水ハウスグループの 2022 年度の Scope 1、Scope 2 の GHG 排出量は 2013 年度比で 50%削減しました。

積水ハウスは、パリ協定の 1.5℃目標に整合させて設定した「2030 年までの 75%削減」の達成に向けて、これからも計画的に取り組みを進め、“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンのもと、ESG 経営のリーディングカンパニーを目指し、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

※事業活動で使用した電力量に対する「積水ハウスオーナーでんき」が購入した卒 FIT を迎えた太陽光発電電力量などの比率

#### 【東京大学未来ビジョン研究センター教授 高村ゆかり氏コメント】

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及拡大などを通じた製品使用時の排出（Scope 3 カテゴリー 11）削減をはじめ、10 年以上にわたって、積水ハウスは脱炭素経営を強力にリードしてきた。このたびの有価証券報告書における事業活動に伴う排出量（Scope 1, 2）の開示と、2022 年度の排出量（Scope 1, 2）の 2013 年度比 50%削減達成などの実績も、脱炭素という社会課題に先駆けて、そして一貫して取り組む姿を示している。「脱炭素はビジネスと両立」し、「ビジネスの機会とする」——それを実践でもって示すものだ。

## 事業活動で排出する CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた主な取り組み

### ■ 有価証券報告書において TCFD 勧告に沿った情報開示に対応

脱炭素社会の実現のため、全ての企業は有価証券報告書に TCFD 勧告に沿った情報開示を行い、「指標と目標」として事業活動における GHG 排出量 (Scope1、Scope2) を開示するべきであるという考えが、金融庁ディスクロージャーワーキング・グループより示されています。

積水ハウスは、本日開示した有価証券報告書で事業活動における GHG 排出量 (Scope1、Scope2) を含む TCFD 勧告に沿った情報開示を行っております。

### ■ 当社の新築建築物の ZEB 化

当社は ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) などの住宅事業で培ったノウハウを生かし、事務所などの非住宅分野でも建物の快適性、省エネ性、災害レジリエンス性を高める ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の建設を推進しています。

2018 年に当社の建築物で初となる「Nearly ZEB」基準を満たす (一次エネルギー消費量 77%削減) 事務所ビル「積水ハウス建設東北株式会社 事務所棟」を竣工しました。2021 年 6 月から当社の活動拠点として新築する建築物については原則 ZEB の基準を満たすものとしており、2023 年 4 月末時点で、当社グループで 14 棟の ZEB を竣工済、5 棟を計画中です。



積水ハウス建設東北の ZEB 事務所

### ■ 積水ハウスオーナーでんき

「積水ハウスオーナーでんき」は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度 (FIT 制度) の買い取り期間が満了 (卒 FIT) したオーナー様から余剰電力を買い取り、当社の事業用電力として利用することで RE100 達成を目指す取り組みで、2019 年 11 月に開始しました。

効率的なスキームにより、卒 FIT 電力の買取価格を市場における最高レベルの 11 円/kWh に設定していることで、お客様満足度の向上にもつながっています。

また「積水ハウスオーナーでんき」の開始以降、卒 FIT された方の約 50% という予想を上回る多数の方にお申込みをいただき、LED 照明の導入などのオフィスにおける節電の取り組みも進捗していることから、RE100 イニシアチブに対して宣言した「2040 年までに事業活動に使用する電力を 100% 再生可能エネルギーにする」という目標を前倒しで達成できる見込みです。

